

議事要旨

第1回 千葉県渋滞・安全見える化委員会

(千葉県移動性(モビリティ)向上プロジェクト委員会
・千葉県安全性向上プロジェクト委員会)

開催日時 平成19年6月18日(月) 13:30~15:00

開催場所 三井ガーデンホテル千葉

委員会出席者： 千葉工業大学工学部 教授	赤羽 弘和 (委員長)
千葉県警察本部 交通企画課長	村上 徹
千葉県警察本部 交通規制課長	本田 和義
千葉県商工会議所連合会 事務局長	小石 まさよ
千葉県トラック協会 事務局長	吉川 秀明
千葉県バス協会 常務理事	加藤 廣
千葉県交通安全協会連合会 事業管理課長	羽部 秀明
千葉県安全運転管理協会 事務局長	佐々木 次郎
千葉日報社 取締役業務局長	川名 親
千葉県 県土整備部 道路計画課 企画調整室長	片海 好夫 (代理出席)
千葉県 県土整備部 道路環境課 副主査	湯浅 康弘 (代理出席)
千葉県 県土整備部 道路環境課長	橋本 竹博
千葉県 環境生活部 交通安全対策課長	佐伯 明
千葉市 土木部 維持管理課 主幹	式田 正夫 (代理出席)
千葉市 道路部 道路計画課 主幹	永名 淳悟 (代理出席)
国土交通省 千葉国道事務所長	大庭 孝之
国土交通省 首都国道事務所長	吉木 務
国土交通省 東京湾岸道路調査事務所長	皿井 聖

(敬称略)

(対策箇所の状況)

- ・見える化プランの策定にあたっては、パブコメを実施し対策箇所を選定したことから、対策の進捗状況や効果をHPなどで公開し、利用者に自分たちの声がどのように反映されたかをお知らせしていくべきである。
 - ・対策実施済み箇所も、利用者の声を収集する機会をつくるべきである。
- #### (新プラン策定の考え方)
- ・新見える化プランの策定は、データ更新のみではなく、渋滞等に対して利用者の実感と整合させることが必要である。
 - ・事故が発生していなくても利用者がヒヤリと感じる箇所は、事故発生の可能性があり、ヒヤヒヤしながら利用することはサービス水準として問題があり、今後の道路整備に反映すべきである。
 - ・渋滞が多く発生する箇所は事故も多い箇所のため、新見える化プランの渋滞と事故の箇所選定では連携させていくことも考えるべきだ。
 - ・整備効果が確認できた箇所では、バスはバスベイに停車、通過交通は立体部を走行、歩行者は専用トンネルを通行することにより、分離することが非常に有効であったと考えられる。
 - ・新見える化プランでは千葉県の半島性という地形を考慮した箇所選定を考えていくべきだ。
 - ・今後は対策箇所の状況を個別に整理しPDCAサイクルのどの段階であるかを提示するとともに、利用者の声の収集方法について検討し新プランの考え方を整理して次回の委員会で意見をいただく。